

2014年3月期 決算説明会

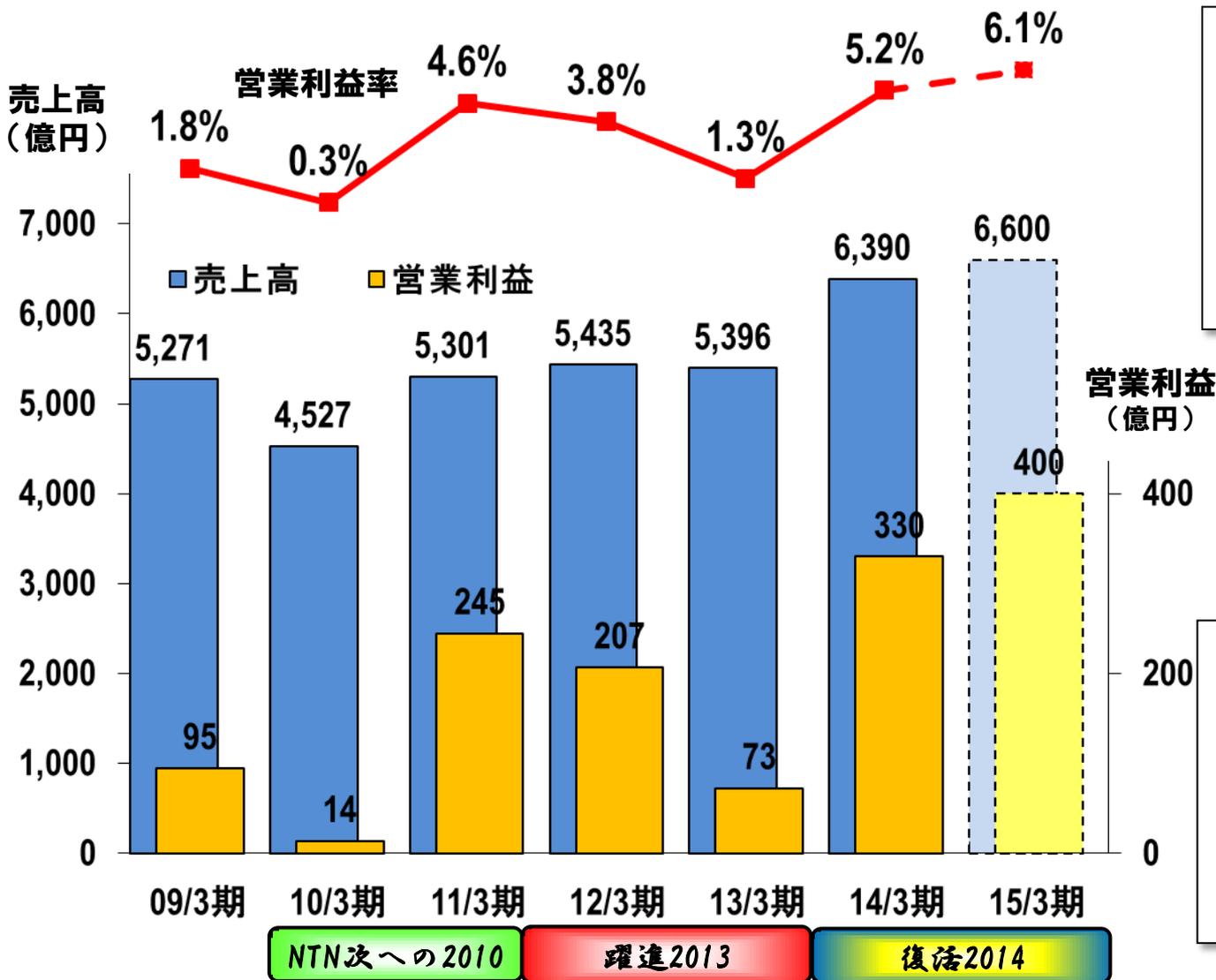
2014年5月19日

NTN株式会社

- I. 中期経営計画「復活2014」の進捗**
- II. 2014年3月期決算と2015年3月期見通し**
- III. 質疑応答**

- 本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

14年3月期実績と15年3月期見通し



14年3月期(実績)

売上高: **6,390億円**
 営業利益: **330億円**
 営業利益率: **5.2%**
 当期利益: **-146億円**
 期末配当: **2円(復配)**

「復活2014」
の完遂

15年3月期(見通し)

売上高: **6,600億円**
 営業利益: **400億円**
 営業利益率: **6.1%**
 当期利益: **200億円**
 年間配当: **5円**

「復活2014」施策の完遂

1. 「緊急対策」

- 人件費・固定費削減
- 設備投資の抑制
- 棚卸資産の削減

2. 「経営資源の集中」

- 補修市場向け販売拡大
- 産業機械事業のグローバル拡大
- 自動車事業の収益改善

3. 「構造改革」

- 人件費構造の改革
- 海外生産の加速
- 事業の選択

4. 「新商品・新事業の拡大」

- モジュール・システム商品の開発強化
- EVシステム商品の事業本格化
- 複合材料商品の開発と市場展開

新たな成長基盤の確立へ

収益性の向上

- ・補修市場向け販売拡大
- ・産業機械事業の拡大
- ・自動車事業の収益改善

資産効率の向上

- ・設備投資効率の向上
- ・棚卸資産回転率の向上

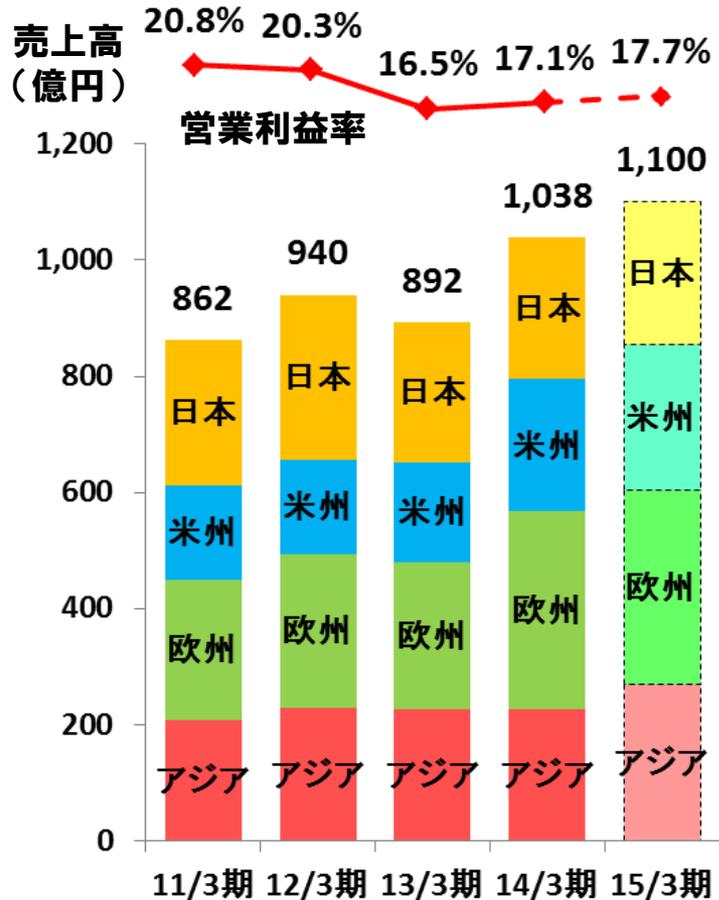
経営基盤の強化

- ・海外生産・現地調達強化
- ・組織体制の強化
- ・新商品開発の加速

収益性の向上（補修市場向け販売拡大）

<14/3期実績（対13/3期）> **売上高1,038億円 (+16%)**, **営業利益177億円 (+20%)**

- ・ 産業機械向けの需要が低迷する中、自動車向けオートパーツが好調
- ・ 特に米州と欧州で自動車向けオートパーツが好調



<15/3期見通し>

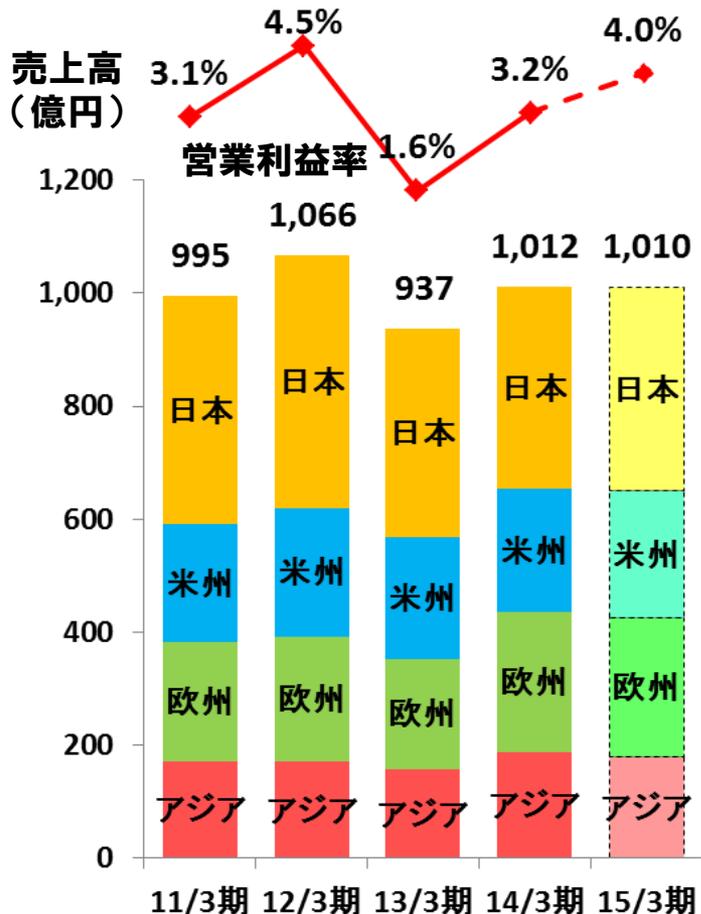
売上高1,100億円 (+6%), **営業利益195億円 (+10%)**

日本	販売体制の強化と人員増強 代理店と協業し顧客へ技術指導
米州	北米3社の協業体制による販売拡大 自動車向けオートパーツ商品の増加
欧州	西欧から中欧・ロシア市場へ オートパーツは新規代理店の拡大
アジア	技術キャラバンによるMRO案件の増加 オートパーツは新規代理店の拡大

収益性の向上（産業機械事業の拡大）

<14/3期実績（対13/3期）> **売上高1012億円 (+8%), 営業利益33億円 (+120%)**

- ・ 中国では、建設機械向けが回復、風力や鉄道車両向けなども増加
- ・ 日本と欧州の鉄道車両や航空機向け、米州の風力向けなどが好調



<15/3期見通し>

売上高1,010億円 (±0%), 営業利益40億円 (+21%)

日本

航空機、工作機械、ロボット向け増加
建設機械は駆け込み需要の反動減も

米州

建設機械向けの需要が回復
農業機械向け新規受注も寄与

欧州

航空機や風力向けが増加
変減速機など一般機械は微減

アジア

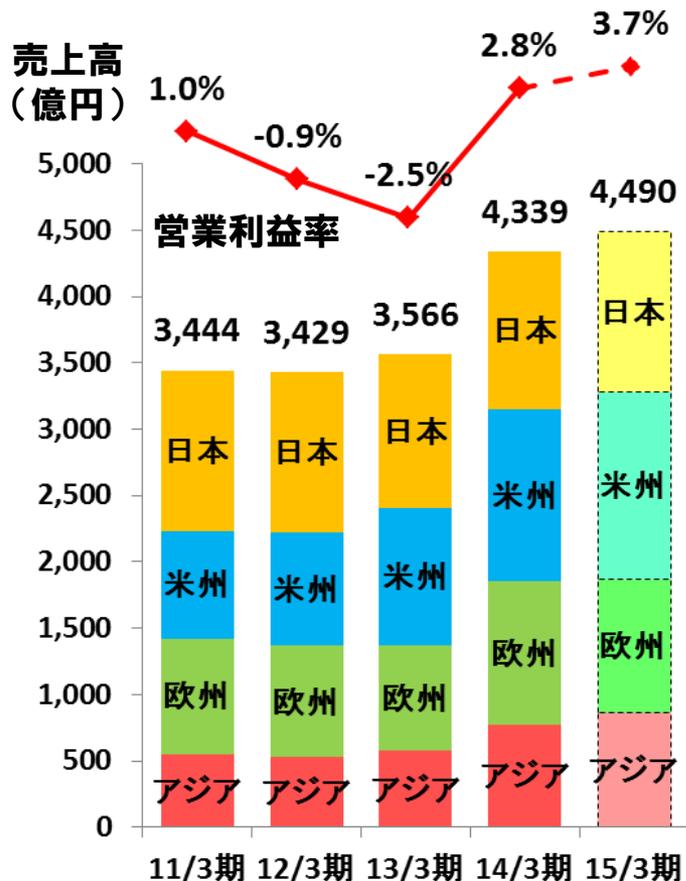
中国の風力、建設機械向けが増加
アジアの建設機械や工作機械が減少

収益性の向上（自動車事業の収益改善）



<14/3期実績（対13/3期）> **売上高4339億円（+22%），営業利益120億円（黒字化）**

- ・米州の自動車生産の持続的成長に加えて、欧州の自動車生産が回復
- ・中国では、日系メカの需要回復により大幅増加、日本の自動車販売も好調



<15/3期見通し>

売上高4,490億円（+3%），営業利益165億円（+10%）

日本

消費増税の駆け込み需要の反動減
客先の輸出増加による需要増加

米州

自動車生産の市場成長を背景に
日系および米系メカ向けで大幅増

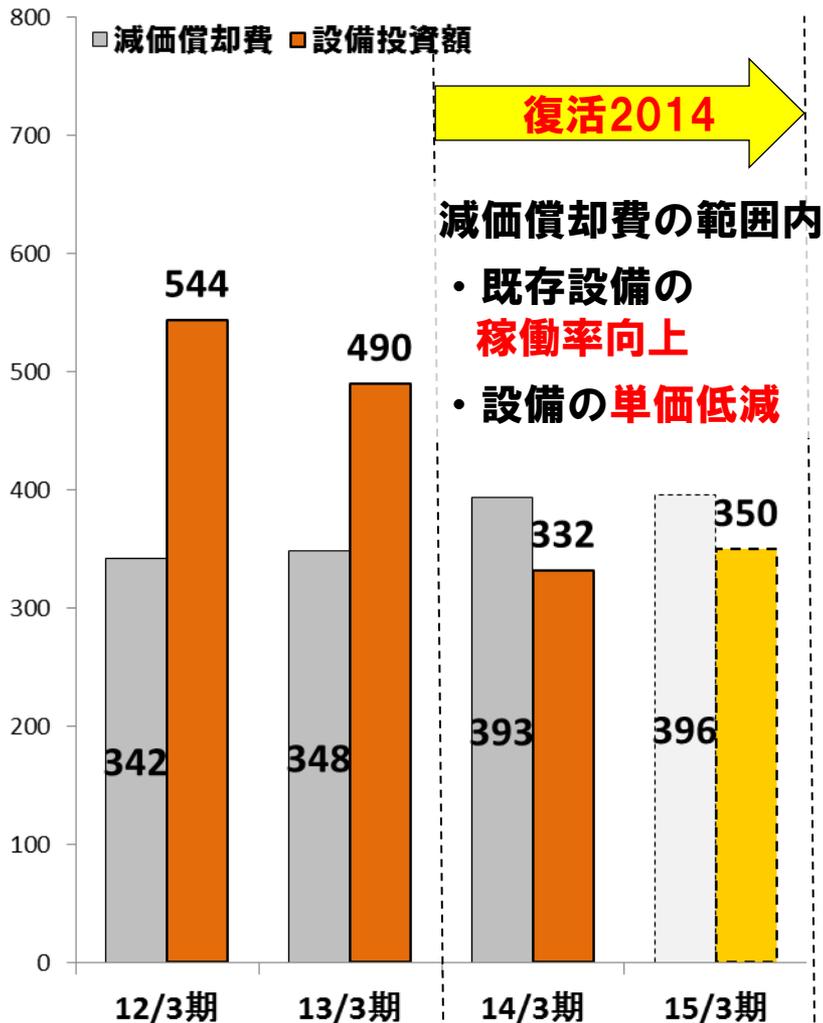
欧州

一部メカの需要減少の影響により
微減

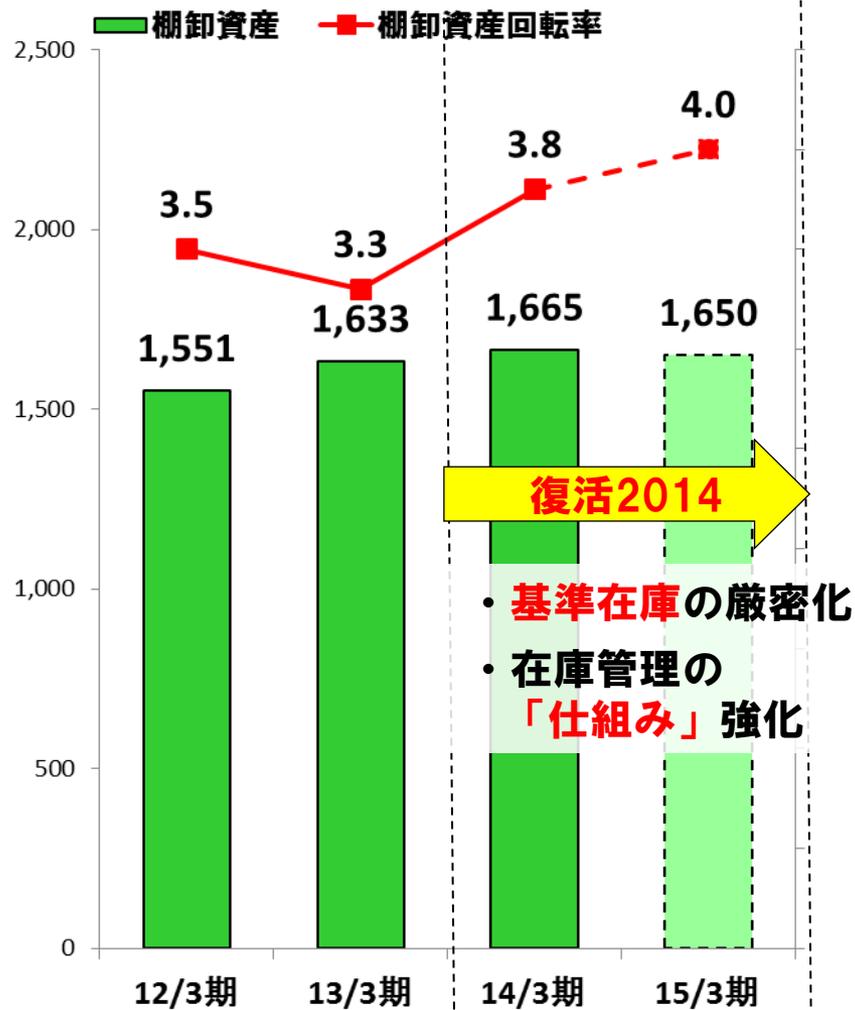
アジア

新規案件の量産開始
中国の地場メカによる需要増加

減価償却費と設備投資額

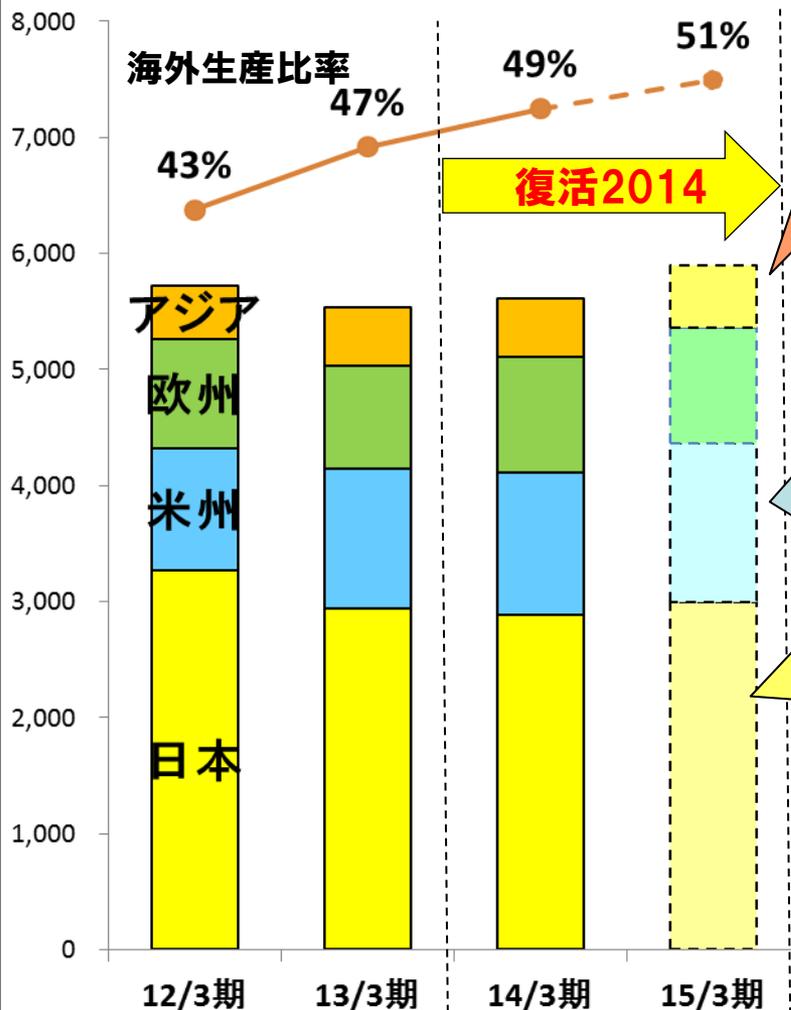


棚卸資産回転率



経営基盤の強化（現地・現物・現人）

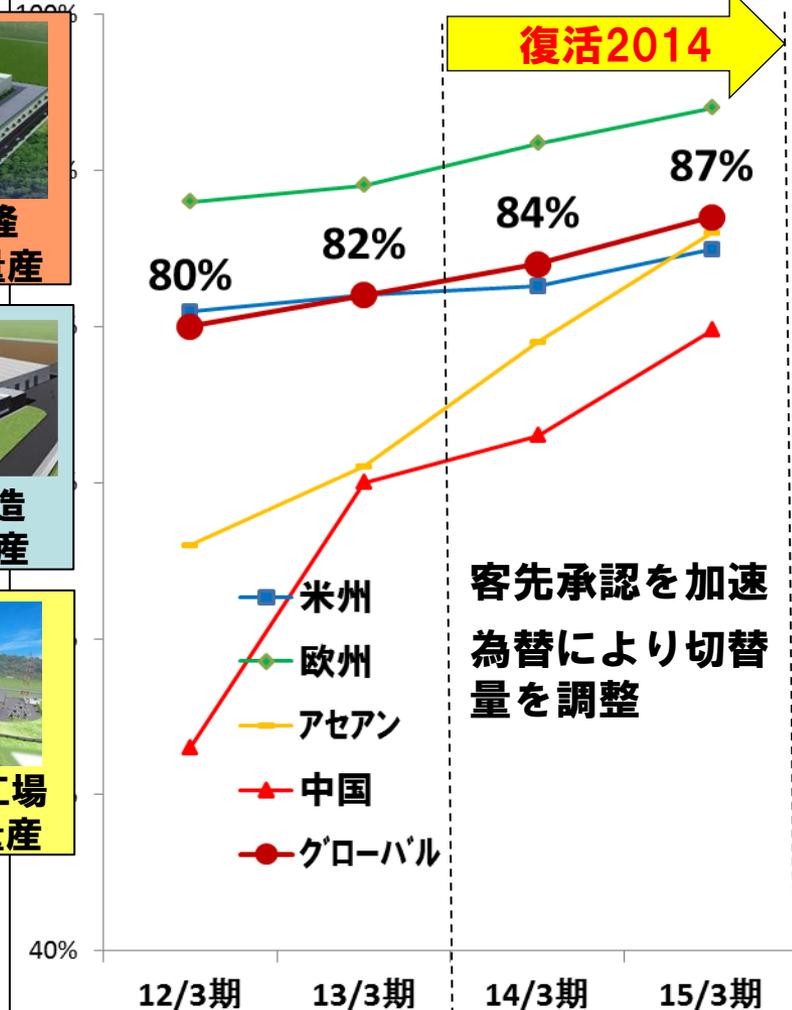
海外生産比率



復活2014



現地調達比率



復活2014

客先承認を加速
為替により切替
量を調整

CSR(社会的責任)推進本部を新設

企業の社会的責任をグローバルで推進する体制を強化

- ・「CSR部」「法務部」「公正取引推進部」を編入
- ・海外の各総支配人室に「内部統制課」を新設

アフターマーケット事業本部を強化

人員増加と、お客様への直接訪問や技術サービス体制を強化

- ・「東日本支社」「西日本支社」「中日本支社」を新設
- ・「営業技術部」「生産企画管理部」を新設

グローバル人材育成部を新設

- ・国や地域を越えて活躍するグローバル人材の計画的育成
- ・技術・技能を世界の製造拠点に伝承できる人材の育成
- ・ダイバーシティ(人材の多様性)の推進

経営基盤の強化（新商品開発の加速）

複合材料商品の開発強化



樹脂すべりねじ

高密度焼結ギア



各種センサ付軸受



産業機械用

単体



自動車用



ハブハウジング

モジュール・システム商品の量産化



電動リニアモジュール



システム

風力発電機状態監視システム

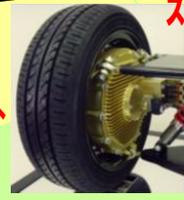


ステアハイワイヤシステム

モジュール



メカニカルクラッチユニット



インホイールモータシステム



各種センサ付商品



電動ブレーキ用ボールねじ駆動モジュール



小型EVコミュータ



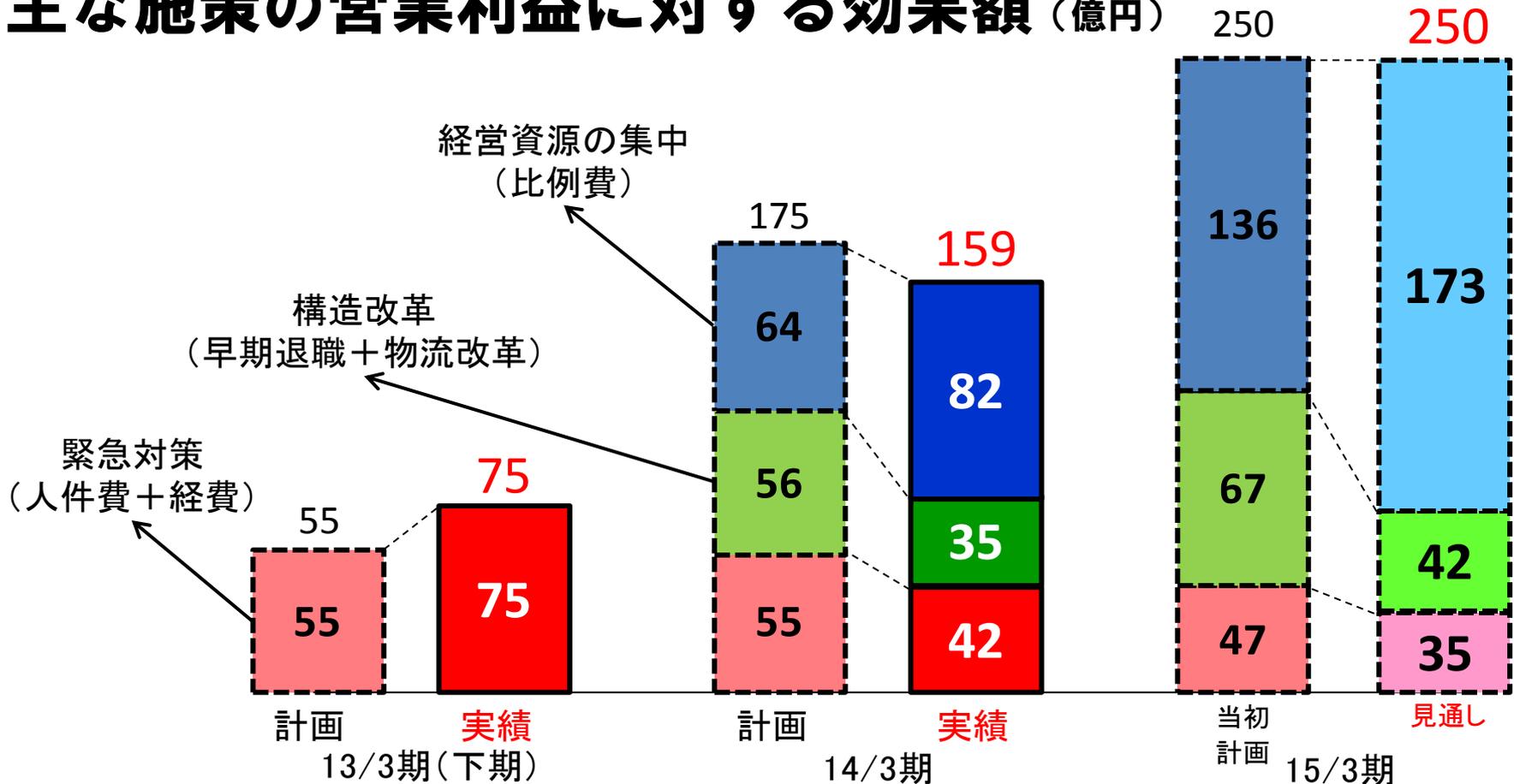
コンバートEV



EVシステム商品の実証事業の加速

中期経営計画「復活2014」の完遂

主な施策の営業利益に対する効果額（億円）



緊急対策は、計画を前倒して削減実施

早期退職は計画600名に対して420名で完了。アフターマーケット事業へ

比例費は計画を大きく上回って削減

2014年3月期決算と 2015年3月期見通し

- ★2014年3月期 決算のポイント
- 1. 連結損益
- 2. 地域別売上高
- 3. 事業形態別売上高・営業利益
- 4. 事業形態別業績（四半期推移）
- 5. 営業利益増減
 - (1) '14年3月期
 - (2) '15年3月期
- 6. 所在地別 売上高・営業利益
 - (1) 日本・米州
 - (2) 欧州・アジア他
- 7. 棚卸資産
- 8. 有利子負債
- 9. 設備投資・減価償却費
- 10. キャッシュ・フロー

2014年3月期の実績

- ◇売上高は **6,390億円**、前期比 **+994億円(+18.4%)**の増収。
- ◇営業利益は **330億円**、前期比 **+257億円(同4.5倍)**の増益。
- ◇特別損失計上により当期純損失は **146億円**(前期は142億円の損失)
- ◇営業CFは **691億円**(前期比**+486億円**)、フリーCFは **349億円**
(同**+710億円**)、共に過去最高。
- ◇期末配当**2円**を実施予定。

2015年3月期の見通し

- ◇売上高は **6,600億円**、前期比 **+210億円(+3.3%)**の見込み。
- ◇営業利益は **400億円**、前期比 **+70億円(+21.2%)**の見込み。
- ◇当期純利益は **200億円**、前期比 **+346億円**の見込み。
- ◇配当については、年間**5円**(中間・期末ともに2.5円)を予定。
- ◇為替レートは、1US\$ = **100円**、1EURO = **130円**。

1. 連結損益

単位：億円

	'13年3月期 実績	'14年3月期 実績	'15年3月期 見通し	対前期増減	
	①	②	③	'14年3月期 ②-①	'15年3月期 ③-②
売上高	5,396	6,390	6,600	994	210
営業利益 (営業利益率)	73 (1.3%)	330 (5.2%)	400 (6.1%)	257 (3.8%)	70 (0.9%)
経常利益	25	287	330	262	43
特別損益	△ 164	△ 311	0	△ 147	311
当期純利益	△ 142	△ 146	200	△ 5	346
為替 US\$	82.9	100.2	100.0	17.3	△ 0.2
レ - ト EURO	106.8	134.2	130.0	27.4	△ 4.2

2. 地域別売上高

<地域別売上高>

単位：億円

	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	対前期増減			対前期増減		
	実績	実績	見通し	'14年3月期			'15年3月期		
	①	②	③	②-①			③-②		
				合計	量	為替	合計	量	為替
日本	1,775	1,791	1,810	16	16	0	19	19	0
米州	1,416	1,746	1,890	330	36	294	144	153	△ 8
欧州	1,248	1,663	1,585	415	76	339	△ 78	△ 31	△ 47
アジア他	958	1,190	1,315	232	44	188	125	141	△ 16
合計	5,396	6,390	6,600	994	172	821	210	281	△ 71

3. 事業形態別売上高・営業利益

<事業形態別売上高>

単位：億円

	'13年3月期		'14年3月期		'15年3月期	
	実績		実績		見通し	
	①		②		③	
補修	892		1,038		1,100	
産業機械	937		1,012		1,010	
自動車	3,566		4,339		4,490	
合計	5,396		6,390		6,600	

対前期増減					
'14年3月期			'15年3月期		
②-①			③-②		
合計	量	為替	合計	量	為替
146	6	140	62	74	△13
74	△41	115	△2	6	△8
773	207	566	151	201	△50
994	172	821	210	281	△71

<事業形態別営業利益>

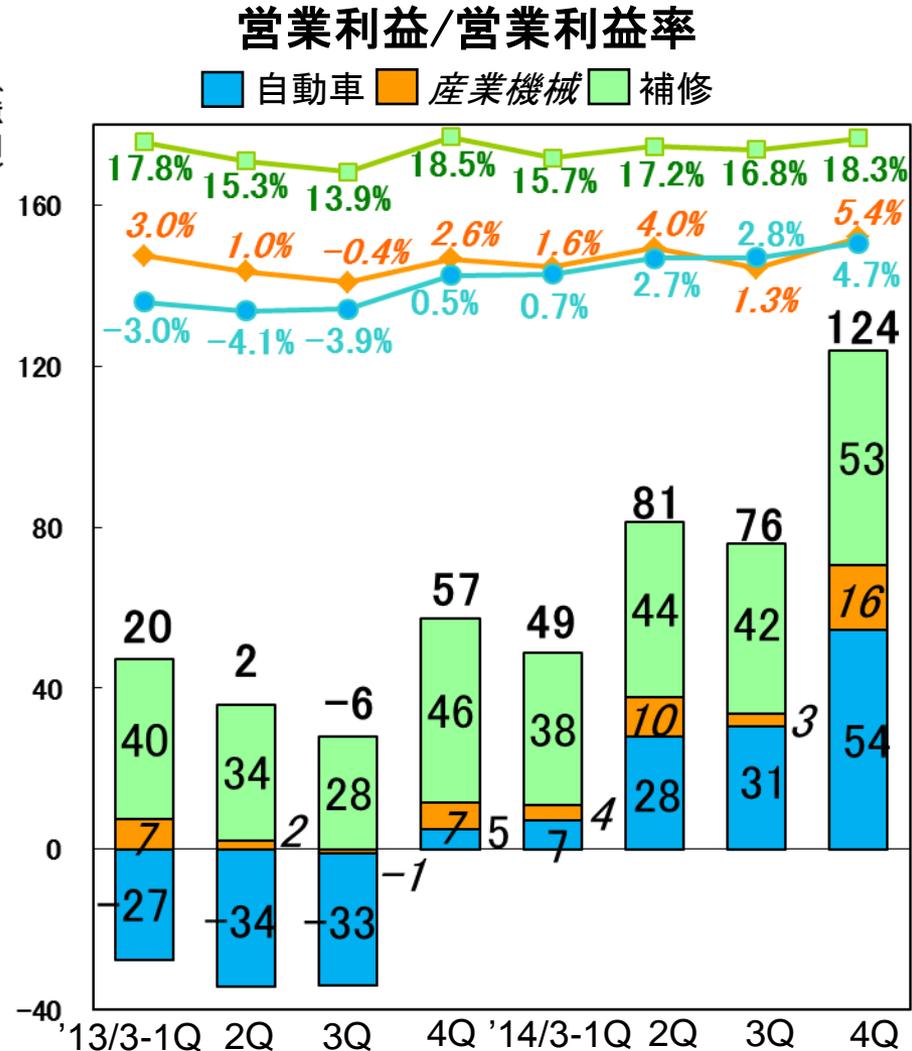
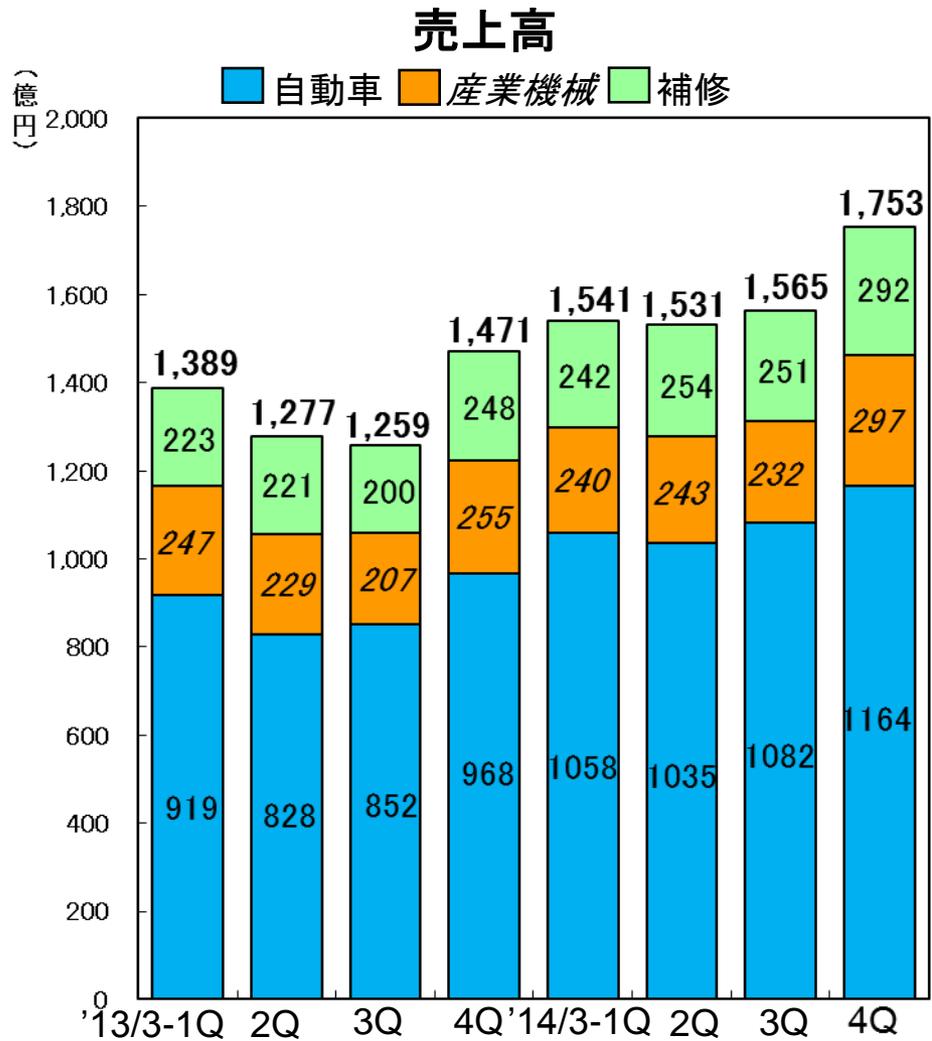
単位：億円

	'13年3月期		'14年3月期		'15年3月期	
	実績		実績		見通し	
	①		②		③	
補修	147	16.5%	177	17.1%	195	17.7%
産業機械	15	1.6%	33	3.2%	40	4.0%
自動車	△90	△2.5%	120	2.8%	165	3.7%
合計	73	1.3%	330	5.2%	400	6.1%

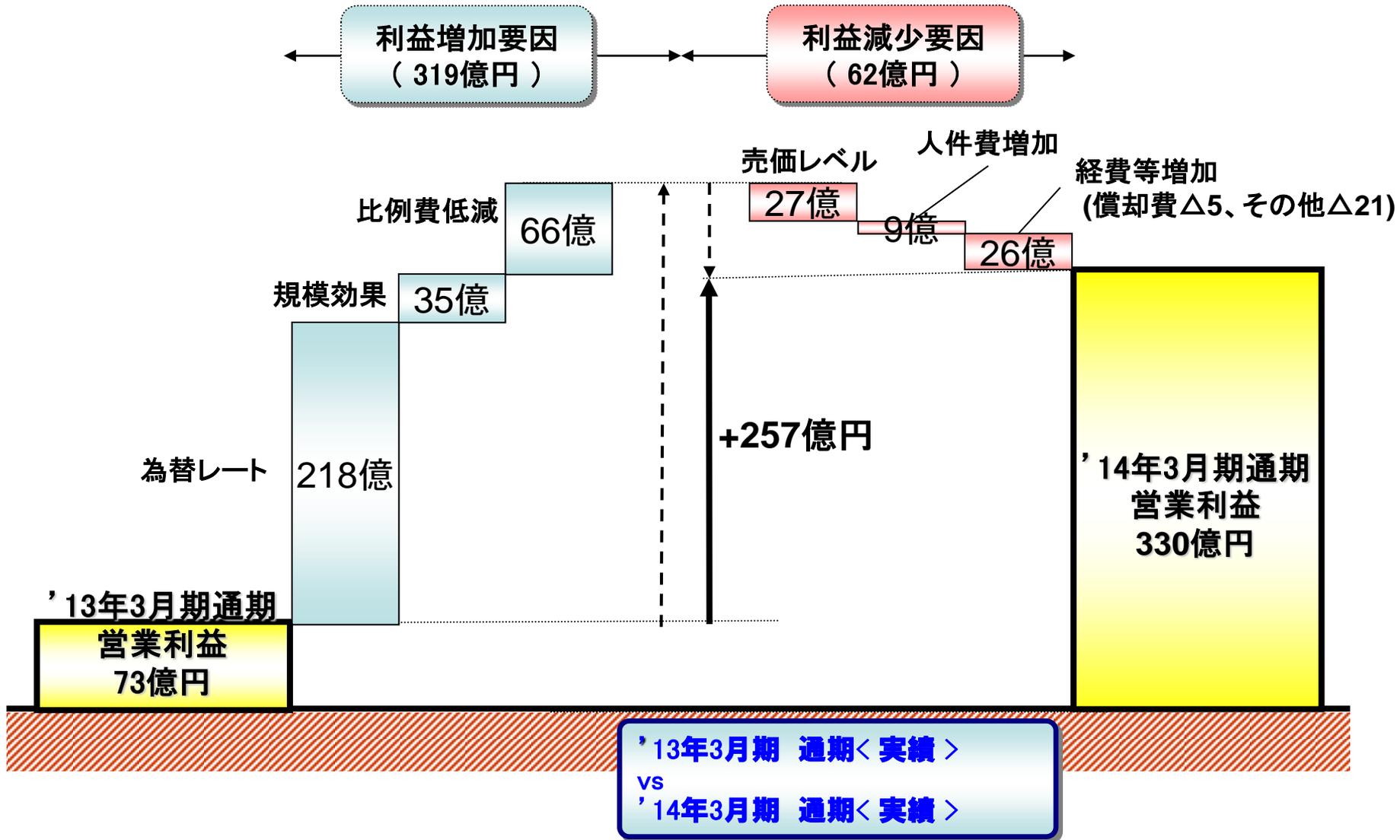
対前期増減			
'14年3月期		'15年3月期	
②-①		③-②	
合計	為替	合計	為替
30	0.6	18	0.6
17	1.6	7	0.8
210	5.3	45	0.9
257	3.8	70	0.9

4. 事業形態別業績(四半期推移)

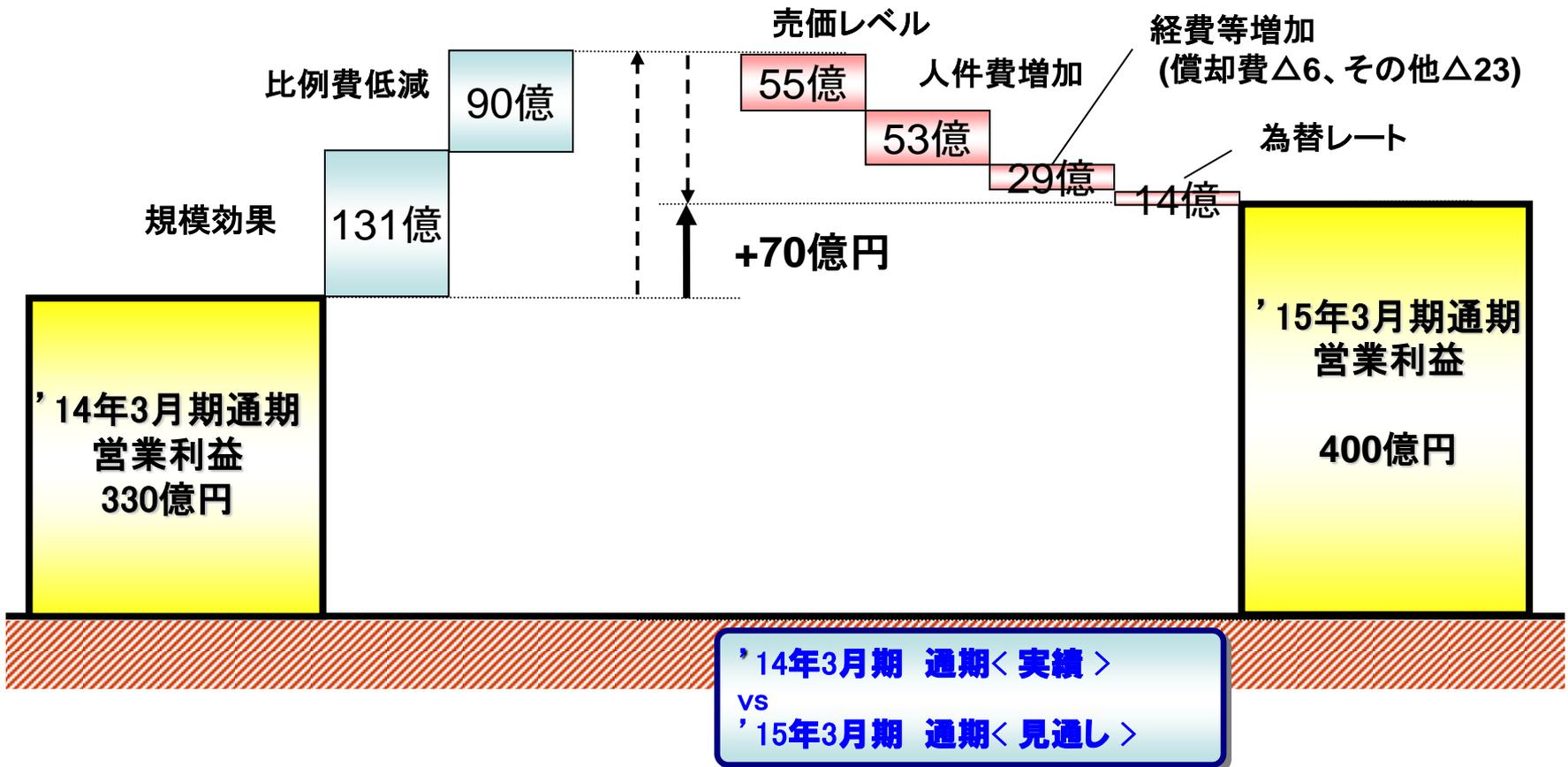
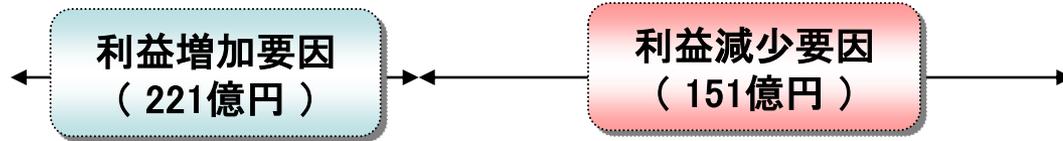
◆4Qは為替の影響もあり全事業形態の利益率が大幅に改善



5-1. 営業利益増減（'14年3月期）



5-2. 営業利益増減（'15年3月期）



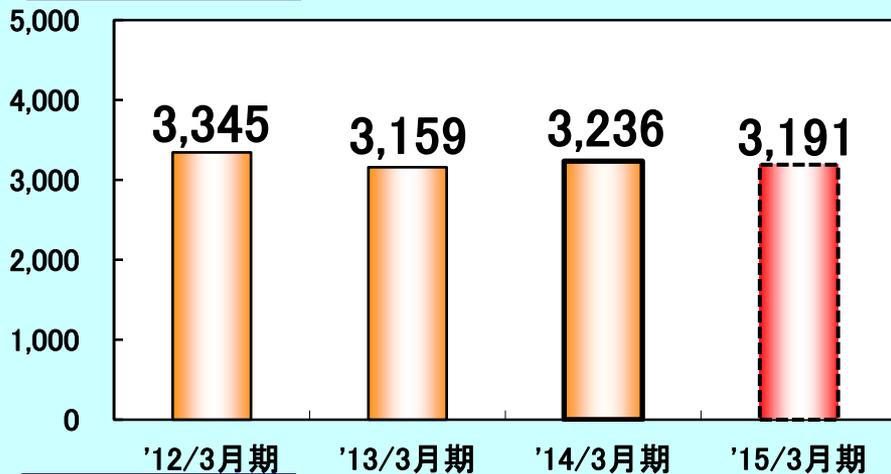
6. 所在地別 売上高・営業利益（日本・米州）

《 日本 》

《 米州 》

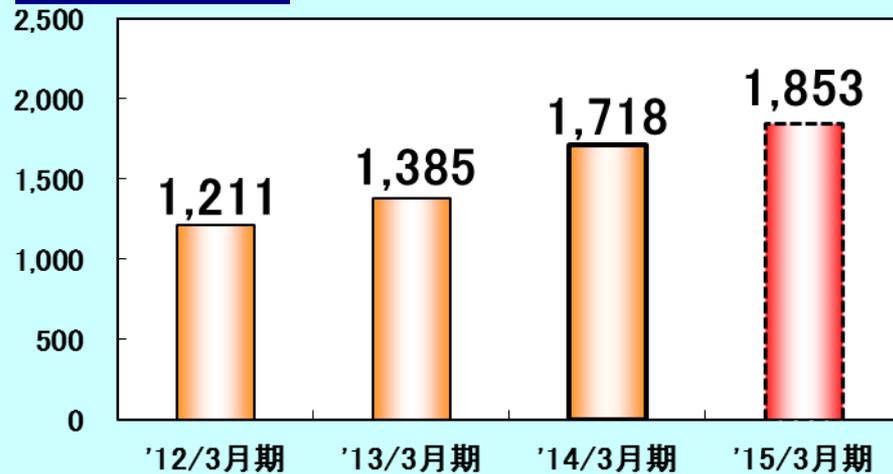
売上高

単位：億円

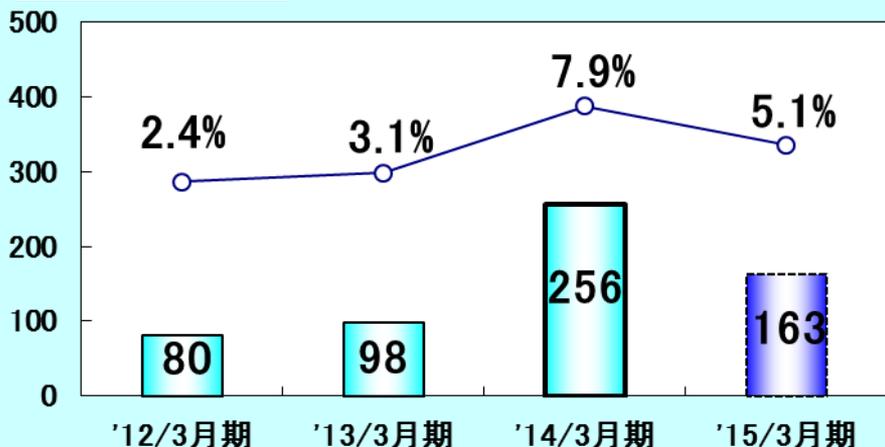


売上高

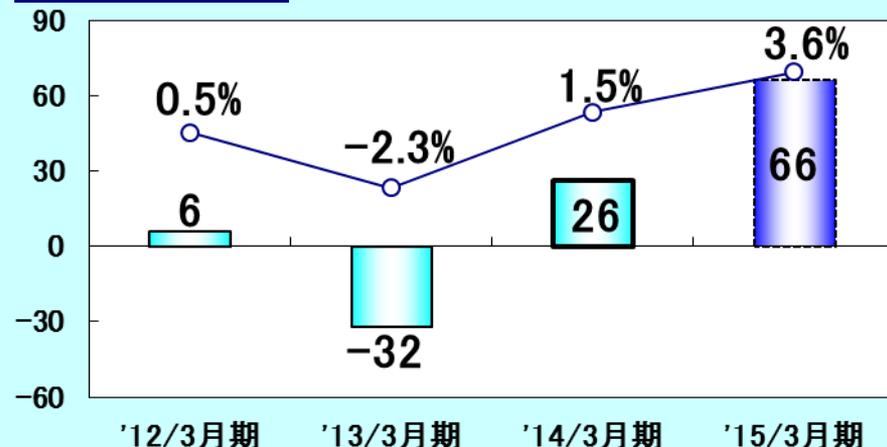
単位：億円



営業利益



営業利益



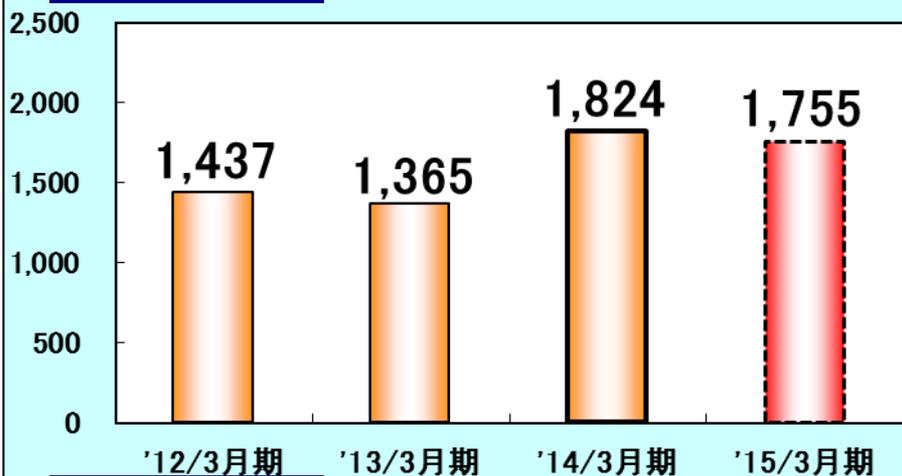
6. 所在地別 売上高・営業利益 (欧州・アジア他)

《 欧州 》

《 アジア他 》

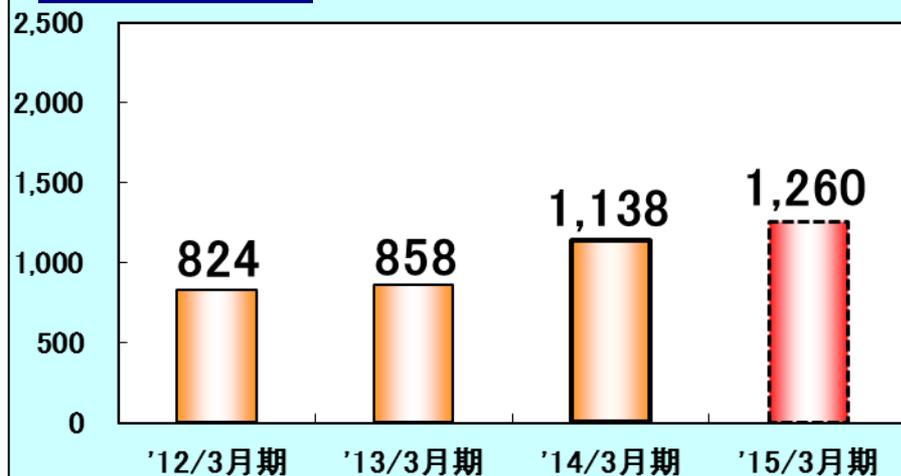
売上高

単位: 億円

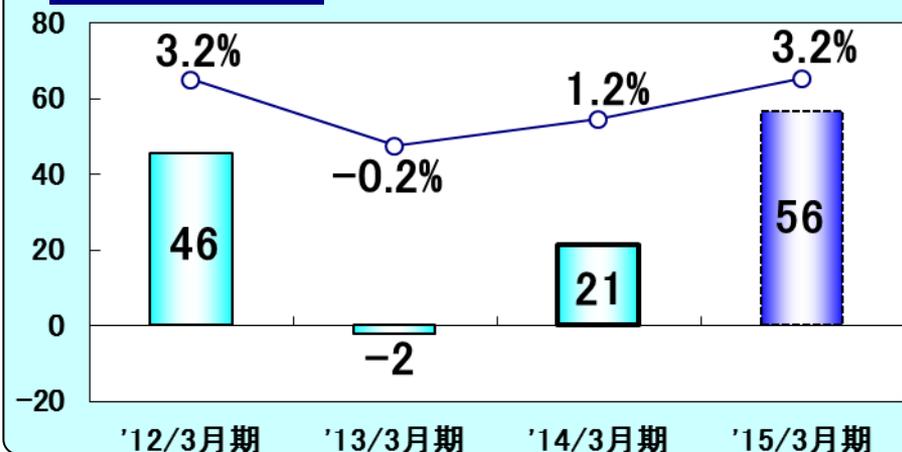


売上高

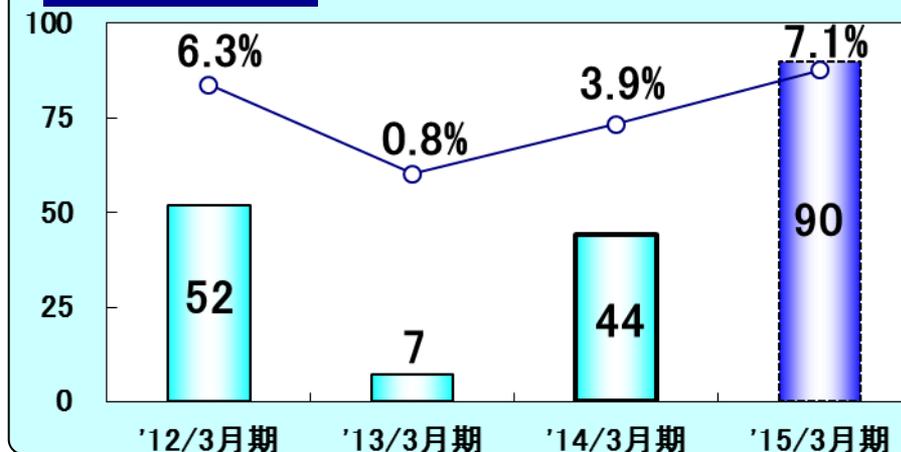
単位: 億円



営業利益

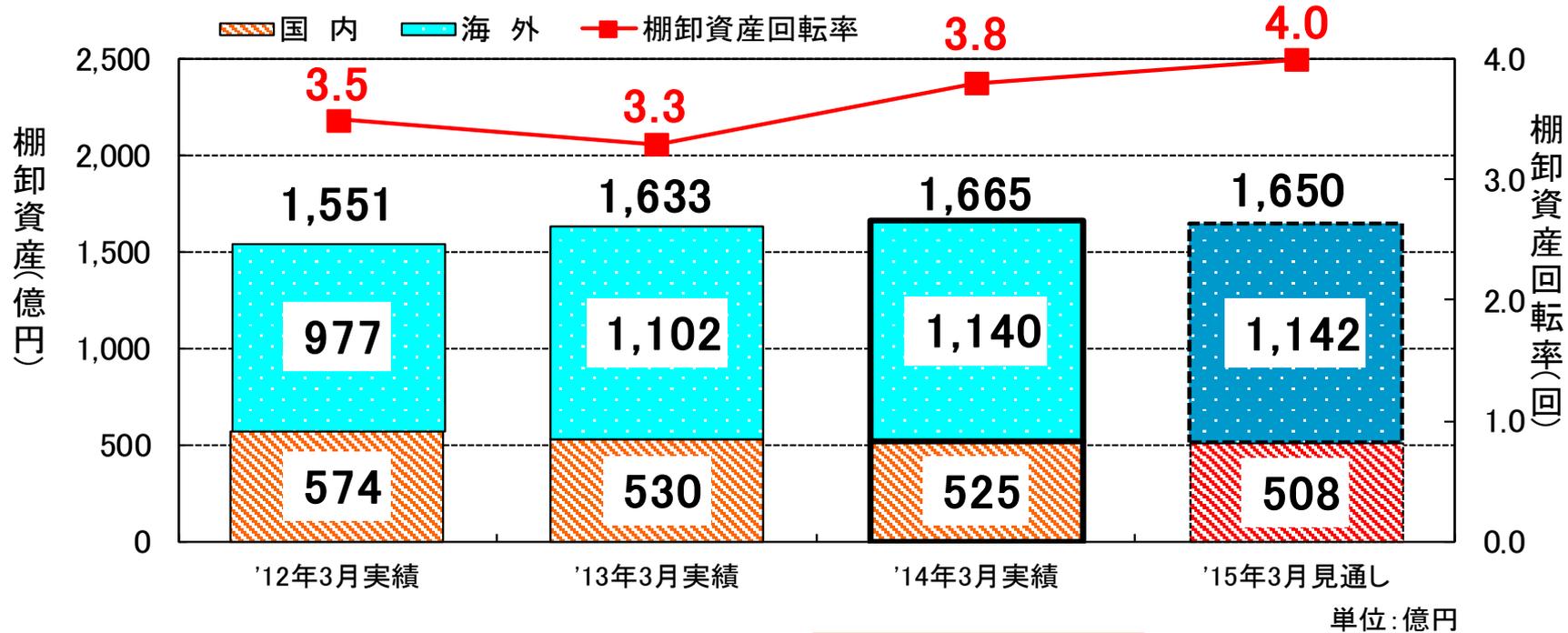


営業利益



7. 棚卸資産

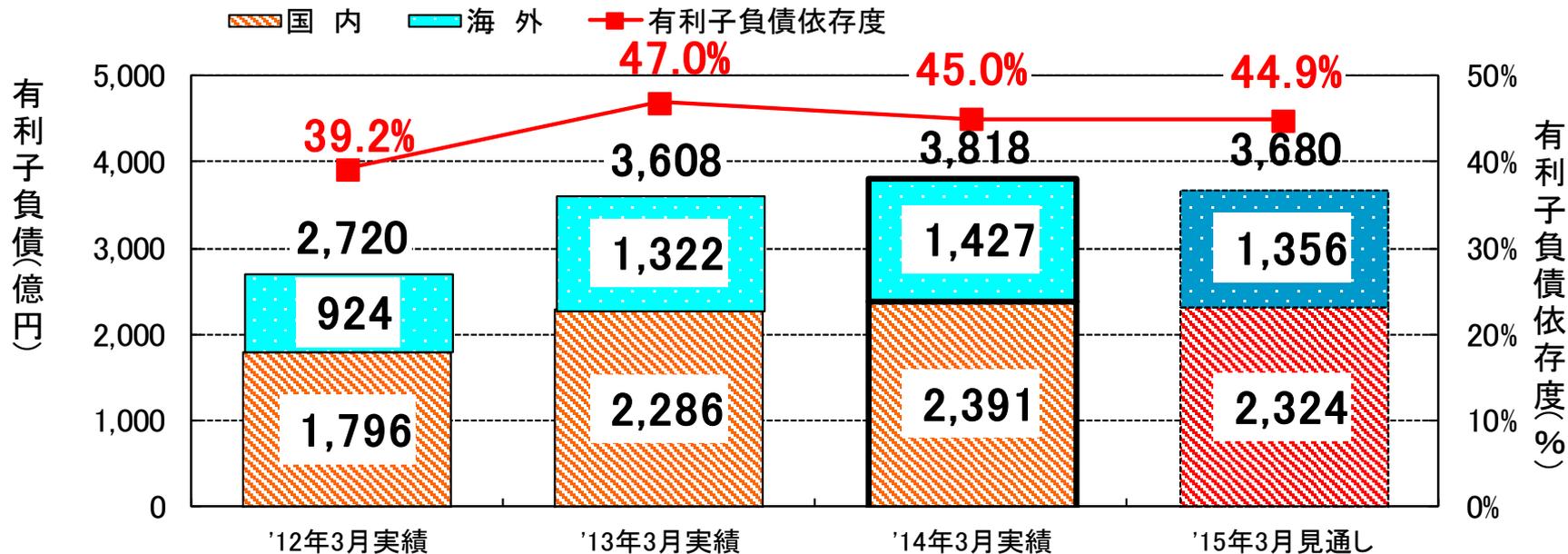
◆ '14年3月末の棚卸資産は前期末比+32億円(内、物量△82億円)。



	'12年3月 実績	'13年3月 実績	'14年3月 実績	'15年3月 見通し
棚卸資産	1,551	1,633	1,665	1,650
（海外）	(977)	(1,102)	(1,140)	(1,142)
（国内）	(574)	(530)	(525)	(508)
棚卸資産回転率	3.5回	3.3回	3.8回	4.0回

8. 有利子負債

◆ '14年3月末のネット有利子負債は前期末比226億円削減。



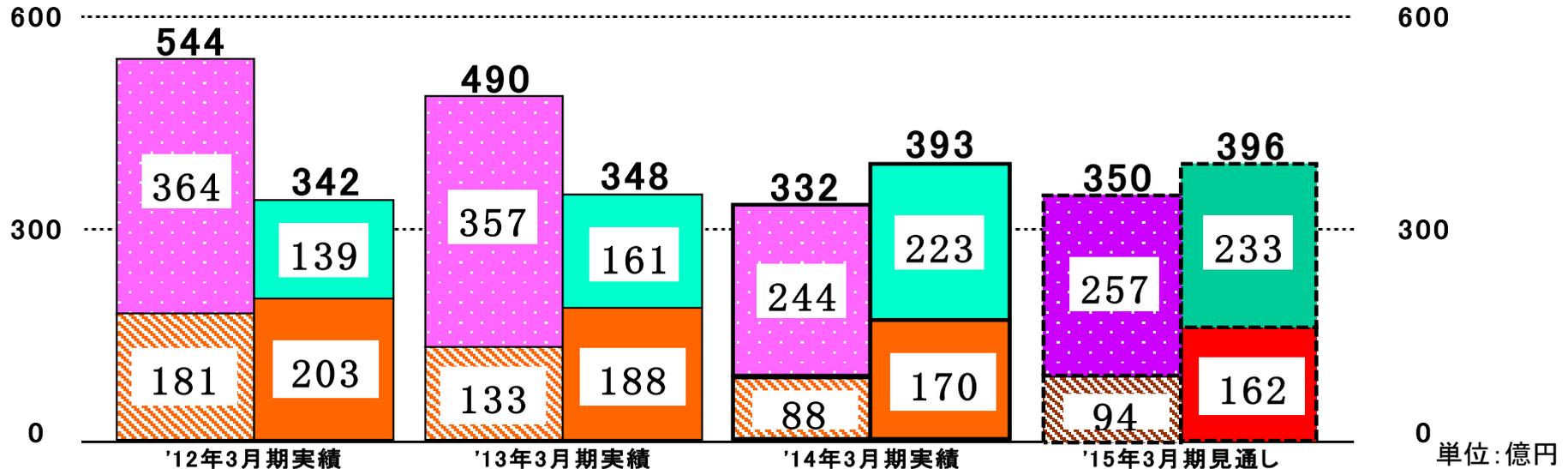
単位: 億円

	'12年3月 実績	'13年3月 実績	'14年3月 実績	'15年3月 見通し
有利子負債	2,720	3,608	3,818	3,680
（海外）	(924)	(1,322)	(1,427)	(1,356)
（国内）	(1,796)	(2,286)	(2,391)	(2,324)
ネット有利子負債	2,194	2,747	2,521	2,520
有利子負債依存度	39.2%	47.0%	45.0%	44.9%

9. 設備投資・減価償却費

◆設備投資の'14年3月期実績、'15年3月期見通し共に減価償却費の範囲内。

(単位:億円) 投資(国内) 投資(海外) 償却(国内) 償却(海外)



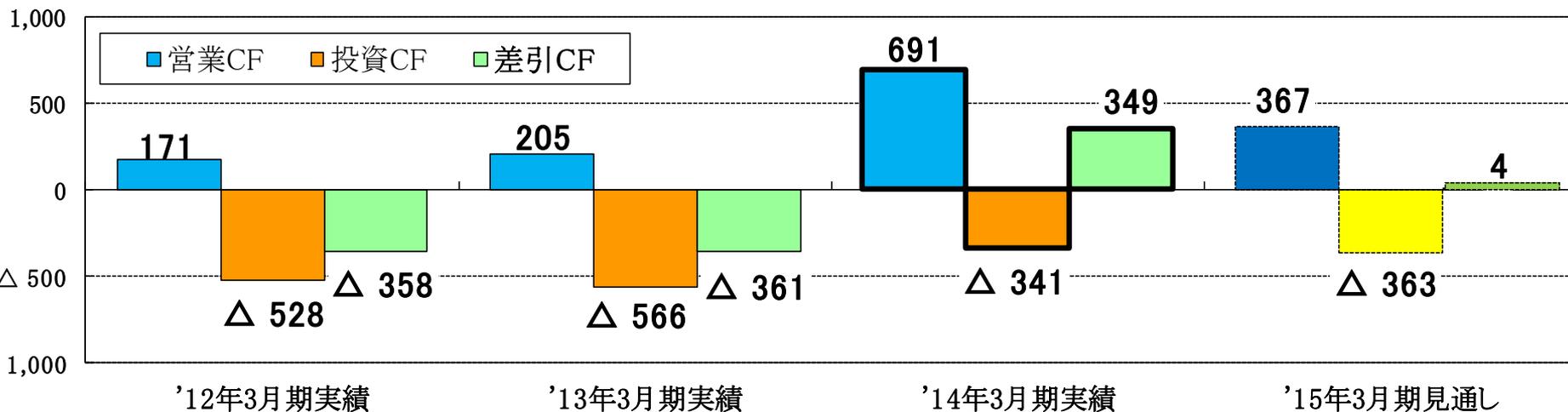
	'12年3月期実績	'13年3月期実績①	'14年3月期実績②	'15年3月期見通し③	②-①	③-②
設備投資 (海外)	544	490	332	350	△158	18
設備投資 (国内)	(364)	(357)	(244)	(256)	(△113)	(12)
	(181)	(133)	(88)	(94)	(△46)	(6)
減価償却費 (海外)	342	348	393	396	45	3
減価償却費 (国内)	(139)	(161)	(223)	(233)	(63)	(10)
	(203)	(188)	(170)	(162)	(△18)	(△8)

10. キャッシュ・フロー

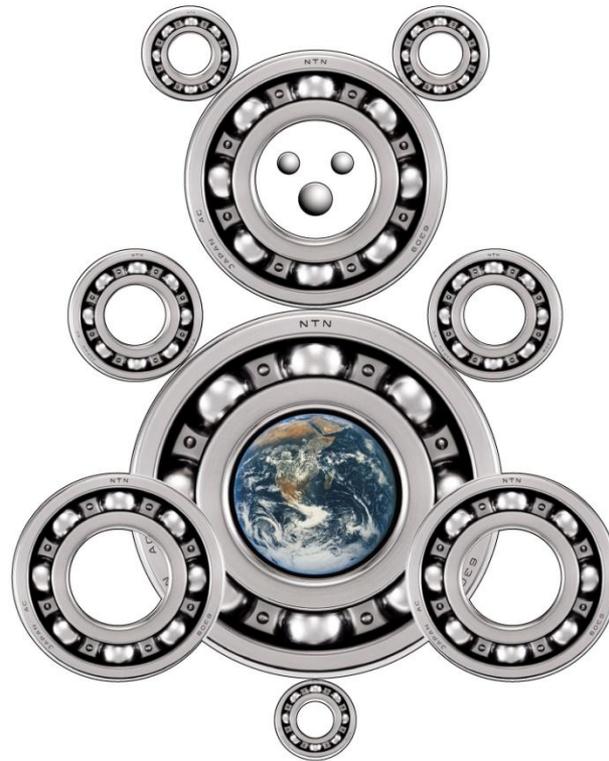
◆ 営業キャッシュフロー、フリーキャッシュフロー共に過去最高。

(単位:億円)

	'12年3月期 実績	'13年3月期 実績 ①	'14年3月期 実績 ②	'15年3月期 見通し③	②-①	③-②
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	171	205	691	367	486	△324
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△528	△566	△341	△363	225	△22
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	472	696	66	△121	△630	△187
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	11	0	20	△20	20	△40
V. 現金及び現金同等物の 増加額	125	335	436	△137	101	△573



We make
Bearings.



For New Technology Network
NTN[®]
NTN株式会社
www.ntn.co.jp